

日・印青少年文化交流_2019年・活動概要

活動期間： 2019年8月17日(土) ~ 25日(日)



実施月/日 AUG/8月	活動内容	活動風景	
17日(土) SAT	P. M. 広島到着 ===== 参加者 中高生:9名 先生: 4名 =====	 	
18日(日) SUN.	終日 日本人学生による平和公園案内、 被爆証言聴講、資料館見学 & 交流会 (日本人大学生5名参加)	 	
19日(月)	終日 武田中高の生徒11名と宮島散策、 もみじ饅頭体験 バスで往復移動しながら交流 参加者: 高校生11名、先生1名	 	
20日(火)	9:00 ~ 12:00 日本人大学生とマツダミュージアム 見学及びショッピング交流 参加者: 大学生3名	 	
21日(水)	午前中 浴衣で西条の酒蔵散策 参加者: 日本人大学生3名 & 市民4名	 	
	午後 東広島市市長表敬	 	
22日(木)	午前 武田中高中・高等学校・交流会 参加者: 全校生徒 約250名 & 中学3年生38名と授業参加	  	

22日 (木)	<p>午後 ときわ台ホームにて入所者・一般住民 と交流 参加者：約250名</p>		
23日 (金)	<p>午前 交流会の中間発表とまとめ 参加者：日本人大学生3名、他</p>		
	<p>午後 広島国際フォーラム参加</p>		
24日 (土)	<p>午後 東広島市小谷地区住民と交流 インド古典舞踊、和太鼓、けん玉、 等を通じて交流 参加者：約150名</p>		
25日 (日)	<p>広島発 広島空港出発ロビーにて</p>		

総評

● 昨年に続き本年もインド・ベンガロール市ACスクール&Claretスクールから中高生9名と先生4名を広島に招聘した。2月にメンバー選定～インドから中高生が日本での活動の準備と同時に広島での受け入れ、活動内容等を決定し、上記日程で活動を遂行した。

● 活動を通じて

平和記念公園、資料館の見学と被爆者証言、学生たちとの交流を通じて広島・日本について学ぶ。インドのメンバーは広島の復興、また原爆の悲惨さに心を打たれた様子であったが、同年代の学生たちとの交流はとても楽しんでいた。

高校生たちの宮島見学、もみじ饅頭体験そして1日中一緒に活動をして互いに大いに満足したようであった、特にもみじ饅頭体験。終日の交流の様子から、日本の高校生たちの英語力がもう少し高ければ更によかったと感じた。

広島のものづくりの原点とも言えるマツダミュージアムの見学想像以上に喜んで、写真お替りに一所懸命にメモを取りながらガイドさんに質問する学生たちの姿は心に残る嬉しい場面であった。

また、物価の高い日本でのお土産選びも大変だったと引率の大学生から話を聞いた。ゆかた姿での西条の酒蔵散策は皆さんにとって記念すべき交流的一幕であった。

東広島市長、教育長、等は今年も快くインドのメンバーを向い入れて感想を聞いてくれ、学生たちが覚えて来た日本の歌を聞いていただき、インドでは学生達が体験できないような機会であった。

武田中高始業式で全校生徒の前でインド舞踊、坂本九の上を向いて歩こうの披露、授業参加、学校生活と学生たちのプレゼン、アニメの話題等は学生たちに共通しているものがあると感じさせた。

昨年に続き福祉施設の希望での交流は、交流事業の主催者の私達にも感動を与えてくれた。

最終日は昨年に続いて小谷小学校区での和太鼓、ソーラン節、けん玉体験、インド舞踊、ビザ作り体験は地域住民のインド文化への関心と日本の子供達の異文化理解を深める大きな役割を果たしたと思う。



